

## 地域共創PJ

### オイスカ学園祭で 生徒らが販売体験

#### エネジンなどが支援

エネジン（浜松市中央区、藤田源右衛門社長）は地域共創プロジェクトの一環として、オイスカ浜松国際高等学校生徒が商品企画やデザイン、販売活動のプロセスを学ぶ機会を提供した。13日には同校学園祭にて、生徒らがパッケージデザインを手がけた「WARABIYAわらび餅」を販売したII写真。同プロジェクトは生徒

の実践的な学習を支援するとともに、スポーツ・教育・地域企業の連携により新たな価値の創出を



目指すもの。生徒らの学びの過程では、プロバス

ケットボールチーム「ペルテックス静岡」とのコラボや、就労支援事業所「カラフル」の作業協力など、複数の地域事業者が協力した。

学園祭当日は、企画・デザインに携わった生徒たちが商品200個の販売に参加。来場者に商品の魅力を直接伝えていた。